

アスリートをサポート

— 薬剤師の立場から —

山口県萩市・椿薬局

寺戸 功

公認スポーツファーマシストは 2009 年度に世界に先駆けて誕生しましたが、当初は医療分野でもスポーツ分野でも全く認知されておりませんでした。もちろん、私もその 1 人でした。

公認スポーツファーマシストは、最新のドーピング防止規則に関する正確な情報・知識を持ち、競技者を含めたスポーツ愛好家などに対し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行い、スポーツにおけるドーピングを防止することを主な活動としています。薬剤師の資格を有し、所定の課程を修めた方が日本アンチ・ドーピング機構より認定される資格制度です。

そんな私がこの資格を取得するに至ったきっかけは“おいでませ！山口国体”の開催でした。それまでの私は、マラソンが趣味の 1 つであり地方のマラソンや駅伝大会に参加していましたが、実はその時に少しでも良い成績を残そうとツロブテロールテープを貼って出場したことがありました。

でも今思えばこれはれっきとしたドーピング行為ですね。ツロブテロールは気管支を拡張させる β_2 作用薬ですが、交感神経の興奮作用および蛋白同化作用により筋肉繊維の増加があるために明確に禁止されている薬剤の 1 つであります。

薬剤師として十分に薬理作用を知っているはずの私でもドーピングという概念が全くありませんでしたので医師、ましてや選手にしてみれば寝耳に水です。ゆえに国内では「うっかりドーピング」が後を絶たないのです。そんな状況では間違いなく国体でも違反者が出てしまうことが予想されます。そこで山口県薬剤師会では特別委員会を立ち上げ、国体に参加する全ての選手をサポートする体制を敷くことになり、私もその 1 人としてこの資格を取得することになりました。



認定カードを持つ筆者

県民や関係団体に対して、いろいろドーピングに対する講習会や周知を徹底した成果があったのか、いよいよ国体が近くなり私の職場にも問い合わせの電話がかかるようになりました。それは地元の医師や歯科医師からでした。例えば、「先生、お知恵を貸して下さい。選手が吐き気があると受診されたんですが、メトクロプラミドを点滴していいでしょうか？」

普段の医師と薬剤師の関係では、医師のこのような腰の低い対応はなかなかありませんから、優越感というか誇らしい気持ちというか、とにかくこの資格を取って薬剤師としての知識を生かした喜びに心躍らせた思いでした。

ちなみに、メトクロプラミドは成分としては問題ないのですが、静脈内注入自体、医療機関の受診過程または臨床検査において正当に受ける場合を除き禁止されています。静脈内注入そのものは競技成績の向上をもたらしますが、エリスロポエチンの使用や輸血により違法に上昇させたヘマトクリット値を急速に低下させたり、摂取した違法薬物の血中濃度を下げる。あるいは尿中排泄を促し、ドー

公認スポーツファーマシスト

の仕事とは

ピング行為を隠すために輸液が行われる可能性があるため禁止されています。

また山口県薬剤師会では、大会期間中ドーピングについての相談を受けるための 24 時間ホットラインを設置しました。するとこの情報を知った国際大会出場中の空手選手が国際電話で問い合わせをしてくたり、中国で活躍中の某有名卓球選手？からは中国語で書かれた医薬品添付文書を F A X してこられる例もありました。アセトアミノフェンとアマンタジンの合剤といった日本ではあまりお目にかかれない医薬品に遭遇しましたが、さすがに中国語での F A X にはびっくりしました。

中には水泳大会の前日に国体選手だと申告して受診し、医師からは「問題ない」と太鼓判を押されて処方されたプロカテロール塩酸塩の吸入使用に関して心配になり、問い合わせをした選手がいました。これも β_2 作用薬で明確な禁止薬であり、危うくドーピング違反をしてしまう選手を救うこともできました。

そのほか、新ココアポ A 錠は大丈夫か？といった問い合わせ。商品名はカタカナですが実は医療用で言う防風通聖散という漢方で、エフェドリンが含まれています。これも興奮薬として禁止されていますが、こういった知識は薬剤師でないと絶対に分らなかった事例です。

もう 1 つの取り組みとしてアウトリーチプログラムというのがあります。これは競技会場の競技者待機スペース等にブースを構え、ドーピング防止に関する啓発活動・相談受付をするものです。実際に最前線で選手たちをバックアップするという責任がある、やりがいのある働きができ、この資格を取得してよかったと実感する機会でもありました。

まだまだスポーツファーマシストは誕生したばかりの制度であり、認知は十分だとは言えません。ですが薬剤師の職能の 1 つとしてスポーツ界はもちろん、学校関係の方々などに大変期待を寄せていただいています。選手に対してドーピングの講習会開催、競技大会でのアウトリーチなど、あらゆる場面で職能を生かせるように取り組んでいきたいと思っています。

学生みなさんも、薬剤師という立場からアスリートをサポートし、まだまだ未開拓のこの資格をみなさんの若い力で開拓してみませんか？

地域のみなさんに、いちばん身近な薬局でありたい。

PHARMACIST MORE



『最も身近なヘルスケアセンター』— カワチ薬品

カワチ薬品の使命は“ファーマシー・モア”の精神のもと、医薬品にとどまらない多様な商品を提供することで、お客様の「健康で快適な生活を実現する」こと。薬剤師のフィールドも薬の提供だけにとどまらず、お客様・患者様一人ひとりに適した予防や健康維持・増進の提案を行い、地域の生活者医療を支える「かかりつけ薬剤師」を目指しています。

〈募集要項〉

勤務内容：保険調剤、医薬品等販売・管理、健康相談

初任給：ナショナル社員 343,320 円（薬剤師手当等含む）

エリア社員 318,830 円（薬剤師手当等含む）

諸手当：役職手当、時間外手当、通勤手当、家族手当 他

昇給：年 1 回 賞与：年 2 回

店舗数：ドラッグストア 210 店舗（内、調剤併設型 45 店：2012 年 4 月現在）

勤務予定地：岩手県・山形県・宮城県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・長野県・山梨県・静岡県の各店舗及び本部

勤務時間：9:00～21:00（一部店舗～22:00）交代制・実働 8 時間

休日・休暇：月 9 回・有給休暇、特別休暇、産前・産後の休暇、育児休暇、介護休暇 他

お問い合わせ先

株式会社カワチ薬品 〒323-0061 栃木県小山市卒島 1293

TEL：0285-37-1115（9:30～17:00 ※日曜日を除く）

e-mail：jinji@cawachi.co.jp 人材開発室 荒川・城下・猿田



会社の詳細は <http://www.cawachi.co.jp>